

令和3年度(2021年度)用

中学校国語科書写用

---

---

# 「新しい書写」 年間指導計画作成資料 【3年】

---

---

※单元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新しい書写」(第3学年)年間指導計画作成資料

単元名の欄中「(3)エ(ア)」などは学習指導要領の内容を示す。

月	単元名	単元の目標	時数	学習活動	観点別評価規準
	書写で学ぶこと p.2-3	書写学習の目的を理解することができる。	適宜	① 3年間の学習の流れを見通す。	
	書写の学習の進め方 p.4	学習の進め方の要点を理解することができる。	適宜	① 書写の学習の進め方を理解する。	
1 効果的に文字を書こう					
4 5	身の回りの文字の目的と工夫 p.80-81 (3) エ (ア)	身の回りの文字の目的と、それに応じた工夫を理解することができる。	2	① 身の回りで見られる文字について、それぞれの特徴や目的、工夫している点を考える。 ② 身の回りの文字の目的と工夫について「書写のかぎ」で確認する。 ③ ①で考えたことを発表し、話し合う。 ④ 自己評価・相互評価をする。	[知識・技能] ○身の回りの文字には、目的に応じた工夫がされていることを理解している。
6 7	手書き文字の特徴 p.82-83 (3) エ (ア) 【用具】鉛筆・ペン	手書き文字や手で書くことの特徴を理解することができる。	2	① 三つの場面での、手書き文字や手で書くことの特徴を考え、表にまとめる。 ② 手書き文字の特徴を「書写のかぎ」で確認する。 ③ 活字で制作したポスターの一部分を「書写のかぎ」を生かして手書きにする。 ④ 自己評価・相互評価をする。	[知識・技能] ○手書き文字の特徴を生かして、効果的に書く工夫を考えている。 [思考・判断・表現] ○手書き文字の特徴を理解している。
	[文字のいずみ] 仕事の中の手書き文字 p.84-85	仕事のなかで手書き文字が持つ役割を知り、文字文化への関心を高めることができる。	適宜	① 4人の職業人のインタビューを読む。	

9 5 10	<b>書き手の意図と表現</b> p.86-87 (3) エ (ア) <b>【用具】</b> 鉛筆	文字は、書き手の意図に応じて効果的に書かれていることを理解できる。	2	① 応援旗の中央の文字から受ける印象や、書き手が表現したい意図を考える。 ② 文字の表現効果について、「書写のかぎ」で確認する。 ③ 文字を選び、表現したい意図や書体、工夫について考え、応援旗を作る。 ④ 自己評価・相互評価をする。	<b>【知識・技能】</b> ○文字は、書き手の意図に応じて効果的に書かれていることを理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> ○意図に応じて効果的に書くための工夫を考えている。
11	<b>現代につながる文字の役割</b> p.88-89 (3) エ (ア) <b>【用具】</b> 鉛筆	文字が果たしてきた役割について考えることができる。	1	① 年表を読んで、文字の役割や現在との共通点などを考え、空欄に記入する。 ② 文字が果たしてきた役割について「書写のかぎ」で確認する。 ③ 自己評価・相互評価をする。	<b>【知識・技能】</b> ○歴史のなかで文字が果たしてきた役割を理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> ○これまで学習してきたことを踏まえて、文字の役割や現在とのつながりについて考えている。
12	<b>[文字のいずみ]</b> <b>書き初めをしよう</b> 〈希望に輝く春〉〈生命を尊ぶ〉〈不屈の精神〉〈梅の花咲く里〉 p.90,105-108 (3) エ (ア) <b>【用具】</b> 毛筆	書きたい言葉と書体を考え、これまでに学習してきた「書写のかぎ」を生かして、書き初めを書くことができる。	1	① 書きたい言葉と書体を考える。 ② これまでに学習した「書写のかぎ」をどのように生かすか考える。 ③ 書き初めを書く。	<b>【知識・技能】</b> ○これまでの学習を理解して書き初めを書いている。
1 5 3	<b>[生活に広げよう]</b> <b>思いを文字で表そう</b> p.91-93 (3) エ (ア) <b>【用具】</b> 鉛筆・毛筆・ペン	書写で身につけた力を生かして、自分の思いを効果的に文字で表現できる。	2	① これまでの書写の学習を生かし、卒業を控えた思いを表す言葉やふさわしい形式を考える。 ② 伝えたい思いを効果的に表現するために、書体、配列、文字の大きさ、筆記具などを工夫し、下書きをして、それをもとに話し合う。 ③ 作品を作る。 ④ 自己評価・相互評価をする。	<b>【思考・判断・表現】</b> ○自分の思いを表現するために、既習事項をどのように生かすか考えている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ○既習事項を生かして、進んで、思いを表す言葉を書こうとしている。

	[文字のいずみ] 古典をもとに p.94-95	高校の芸術科書道について知り、文字文化への関心を高めることができる。	適宜	① 書道の古典作品を見る。 ② 書道の学習について知る。 ③ 高校生の活躍について知る。	
	[文字のいずみ] 書いて味わおう 「おくのほそ道」 p.96	古典文学を書いて味わい、文字文化への関心を高めることができる。	適宜	① 「おくのほそ道」の文章を書く。	
	[文字のいずみ] 二十四節気と季節の挨拶 p.109-112	二十四節気と季節の挨拶について知り、文字文化への関心を高めることができる。	適宜	① 二十四節気の区分とその解説、季節の挨拶文例を読む。	
	[文字のいずみ] 書くことを楽しむ 日本の文字文化、世界の文字文化 裏表紙裏 (3) エ (ア)	世界の文字文化を知り、文字文化への関心を高めることができる。	適宜	① 日本の書き初めの様子を見る。 ② カリグラフィの様子を見る。 ③ アラビア書道の様子を見る。	
<b>書写活用ブック</b>					
	さまざまな書式 (手紙、新聞、リーフレット、ポスター、フリップ、レポート、原稿用紙 ほか) p.(2)-(9)	さまざまな場面にふさわしい書き方や、情報のまとめ方を理解することができる。	適宜	① 手紙、新聞、リーフレット、ポスター、フリップ、レポート、原稿用紙、入学願書、複写式の用紙、往復はがき、のし袋、簡潔な手紙、電子メールの書き方についての解説を読む。	
	行書の部分の形 p.(10)-(11)	行書の部分の形の違いを理解することができる。	適宜	① 上段の文字にならい、形の違いを意識しながら空欄に行書で書く。	
	常用漢字表、人名用漢字表 p.(12)-(32)	常用漢字、人名用漢字の手書きの書き方を理解することができる。	適宜	① 常用漢字 2136 字・人名用漢字 863 字の楷書体と行書体を一覧する。	